

スマートフォンユーザーの MVNO 利用率は 18.1%に

～30 代以上は約 2 割が MVNO 利用～

まとめ

調査結果 :

- ① スマートフォンユーザーの MVNO 利用率は 18.1%。
- ② どの年代でも昨年よりも伸びており、30 代以上は約 2 割が MVNO 利用。

■ 調査結果

1.スマートフォンユーザーの MVNO 利用率は 18.1%

NTT ドコモモバイル社会研究所では、2019 年 1 月にスマートフォン利用者での MVNO 利用率について調査を実施。

「MVNO (Mobile Virtual Network Operator) = 仮想移動通信事業者」とは、NTT ドコモ、au、ソフトバンクなどの「MNO (Mobile Network Operator) = 移動通信事業者」から通信回線を借り受けて通信サービスを提供する事業者のこと。MVNO は格安スマホ、格安 SIM などと呼ばれ、主にスマートフォンやタブレット向けにサービスが提供されている。本稿では、「NTT ドコモ、au(KDDI、沖縄セルラー)、ソフトバンク、Y!mobile」の 4 社を「MNO」、それ以外を「MVNO (UQ コミュニケーションズ、LINE モバイル、楽天モバイルなど)」とした。MVNO は近年普及が進んできており、2019 年にはスマートフォンユーザーのうち 18.1%が MVNO を利用との結果が得られた。また MVNO 利用率は年々増加している (図 1)。

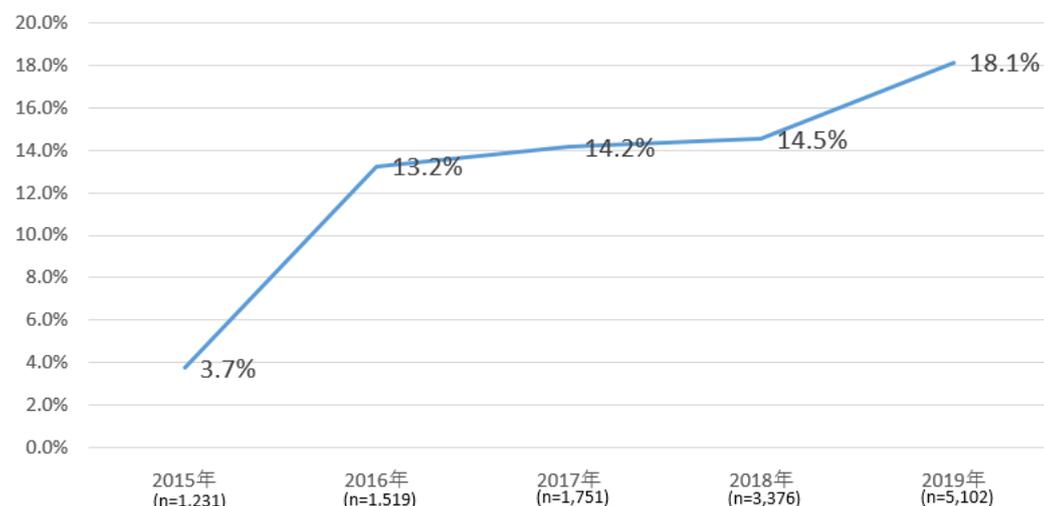


図 1.スマートフォンユーザーの MVNO 利用率 1

¹ 「スマートフォン」は「Android」「iPhone」「Windows Mobile が OS のもの」「シニア向けスマートフォン」「タブレットタブレット (AQUOS PAD, ARROWS Tab, iPad など、通信回線契約をしているものに限る)」の合計。また「NTT ドコモ」、「au」、「ソフトバンク」および「Y!mobile」を除いた携帯電話会社を MVNO として集計。

2. 年代ごとのスマートフォンユーザーのMVNO利用率

それぞれの年代ごとにスマートフォンユーザーのうち何%がMVNO ユーザかを調査した。30代（20.2%）、40代（20.7%）、50代（19.6%）、60代（19.6%）、70代（20.6%）と2019年のMVNO平均利用率18.1%を超えて、約2割がMVNOを利用していることが明らかになった。またどの年代においても2018年調査時よりもスマートフォンユーザーのうちMVNO利用率は伸びている。（図2）。

楽天が第4の「移動通信事業者=MNO」としてサービスを開始することもあり、MVNOを取り巻く環境は大きく変化することが想定される。今後どのような変化が生じるかについて継続的に観測していきたい。



図2.年代ごとのスマートフォンユーザーのMVNO利用率（2018年と2019年の比較）

■ 調査概要

調査名：「一般向けモバイル動向調査」

調査時期：2015年1月、2016年1月、2017年1月、2018年1月、2019年1月

調査対象：全国・15～79歳男女

調査方法：Web 標本抽出法：QUOTA SAMPLING、性別・年齢（5歳刻み）・居住地域区分のセグメントで日本の人口分布に比例して割付。

サンプル数：2015年（2,706）、2016年（3,000）、2017年（3,000）、2018年（6,000）、2019年（6,926）回収

■ 問い合わせ先

詳細なデータ、質問項目など、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

株式会社 NTT ドコモ モバイル社会研究所 msri-inq-ml@nttdocomo.com